

報告・承認事項

2010年度 事業報告書

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

一般社団法人交通環境整備ネットワークの2期目となる2009年度は、交通環境の調査研究と併せて地域鉄道フォーラム、セミナートレイン等を開催すると共にメディア等を通じて発言を行ってきました。

詳細については以下のとおりです。

1. 交通環境の調査研究

鉄道をとりまく現状、市民参加の現状に関する諸情報を収集するとともに以下の調査研究を公表しました。

- (1) 中央東線の高速化の意義：佐藤信之 鉄道ジャーナル [’10.04] p98～105
- (2) 夜行列車半世紀の盛衰：佐藤信之 鉄道ジャーナル [’10.05] p106～111
- (3) 富山の路面電車：佐藤信之 鉄道ジャーナル [’10.06] p104～111
- (4) 鉄道政策：佐藤信之 鉄道ジャーナル [’10.07] p108～111
- (5) 公募社長サミット：原 潔 交通公論 [’10.06・07] p42～49
- (6) 高速道路新料金の経緯と公共交通機関への影響：佐藤信之 鉄道ジャーナル [’10.08] p104～109
- (7) 第三セクター公募社長イベント：佐藤信之 鉄道ジャーナル [’10.09] p104～109
- (8) 北陸の鉄道巡り：唐崎好彦 会報「地域鉄道を考える2」 [’10.10] p2～3
- (9) 十和田観光電鉄の現状について：後藤崇輔 「地域鉄道を考える2」 [’10.10] p4～14
- (10) 営業収支からみる地域鉄道事業の実態：原 潔 「地域鉄道を考える2」 [’10.10] p15～22
- (11) 三岐鉄道のひと駅いちテーマ：入江 聰 「地域鉄道を考える2」 [’10.10] p23～28
- (12) 公募副社長半年：松本孝徳 「地域鉄道を考える2」 [’10.10] p29～39
- (13) ワンマン運転と安全配慮義務：小島好己 「地域鉄道を考える2」 [’10.10] p40～45
- (14) 東京都交通局100周年東京都営地下鉄一地内交通主義一 鉄道ジャーナル [’11.01] p106～112
- (15) 東京モノレール羽田線・京浜急行電鉄空港線：佐藤信之 鉄道ジャーナル [’11.02] p104～109
- (16) 武蔵野線・京葉線の旅客輸送改善：佐藤信之 鉄道ジャーナル [’11.03] p109～115
- (17) 鉄道・幾春秋：平野雄司 鉄道ジャーナル [’10.04]

2. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

(1) 主催活動

- ①地域鉄道フォーラム「公募社長サミットin 東京」の開催
国土交通省鉄道局後援 第三セクター鉄道等協議会との共催
期日：2010年6月12日（土）13時00分～15時30分
場所：東武博物館
概要：183名参加

- ・第1部 講演 地域鉄道の現状と課題について

講演者：山形鉄道	（山形県）	社長	野村浩志
ひたちなか海浜鉄道	（茨城県）	社長	吉田千秋
いすみ鉄道	（千葉県）	社長	鳥塚亮
北条鉄道	（兵庫県）	副社長	松本孝徳

- ・第2部 公募社長サミット 一明日をめざして
交通評論家佐藤信之と公募社長による討論

- ②津軽鉄道80周年記念シアタートレインの開催
期日：平成22年7月3日（土）15時20分～17時40分
場所：津軽鉄道津軽五所川原駅 留置客車内
参加費：無料

プログラム
・講演 「津軽鉄道の魅力」 佐藤信之
・栗山弘監督「津軽の鉄道」上映

・「東北ローカル線の再生」 上映

③山形鉄道大学－第4回セミナートレイン の開催

期日：平成 22 年 10 月 30 日（土）

場所：山形鉄道線内及びあやめ会館

概要：山形鉄道線内セミナー参加 26 名

あやめ会館セミナー参加 51 名

・鉄道線内セミナー

山形鉄道社長 野村浩志 挨拶

交通環境整備ネットワーク 佐藤信之代表より挨拶講演

宮内駅「もっちい」駅長対面、方言ガイドによる全線添乗

荒砥駅資料館・車両基地・最上川鉄橋(我国最古の長大鉄橋) 見学

・あやめ会館でのセミナー

1. はじめに 山形鉄道株式会社 社長 野村浩志

2. 基調講演

「鉄道と文化から考える東北」 早稲田大学講師 田中人

「子連れローカル鉄道旅行」一子鉄の楽しさ徹底解明—

社会学者・詩人 水無田気流

3. 講演「鉄道の元気は街の元気」

一部 ひたちなか海浜鉄道 社長 吉田千秋

二部 銚子市観光プロデューサー 向後功作

(2) 参加・後援等支援協力活動

・銚子あるくねっとわーく CAN 主催「外川まち歩きワーックショップ」後援 (2010 年 6 月)

・休暇取得分散化に関する関東ブロック説明会参加 (於東京商工会議所 2010 年 6 月 2 日)

・財団法人 公明文化協会 「ローカル鉄道とまちづくり」講師：向後功作 (2010 年 6 月 25 日)

・関東運輸局交通サポーター募集対応 (2010 年 7 月)

・ヒアリングドッグ (聴導犬) チャリティー参加 (於四谷区民ホール 2010 年 10 月 1 日)

・国土交通大学校「持続可能な地域鉄道再生のために」講師：原 潔 (2010 年 10 月 27 日)

・鉄道に関する講演会—鳥塚亮いすみ鉄道社長 (於鉄道・運輸機構 2010 年 11 月 29 日)

・運輸政策セミナー：ヒューマンエラーの防止策に参加 (於運輸政策研究機構 2010 年 12 月 15 日)

・運輸調査局研究報告会参加 (於如水会館 2011 年 2 月 2 日)

・J E T R O インドネシア鉄道総局幹部招聘プロジェクトに協力 (2011 年 2 月 5 日)

・秋田県鹿角地域振興局「銚子電鉄のぬれ煎餅に学ぶ地域の資源活用法」講師：向後功作 (2011 年 3 月 4 日)

・東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社津田沼エリア職場長研修会 講師：向後功作 (2011 年 3 月 18 日)

3. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

(1) インターネットによる情報発信

①ホームページ

インターネットサイト <http://www.ecotran.org> を使って法人運営に関しての告知と地域交通に関する情報の提供を行って参りました。

2011 年 3 月にはホームページを全面リニューアル。

②メールによる鉄道情報配信

鉄道諸情報を会員あてメールで配信をしてまいりました。

(2) 会報の発行

交通環境の調査研究論文のほか地域鉄道の諸情報をまとめた会報「地域鉄道を考える」第2号を2009年10月発行しました。また本年は会報別冊として、津軽鉄道80周年記念号「津軽鉄道小史」を発行しました。

津軽鉄道小史については、会員以外の方への頒布も行いました。

(3) 鉄道ジャーナル誌に法人活動等掲載

鉄道ジャーナル誌の「ECOTRAN通信」欄に当法人並びに会員の活動を紹介して参りました。これにより一般の方々に広く興味を持っていただけることができました。

5. 法人のうごき

(1) 定時社員総会

日時 平成22年6月12日（土） 11時～

場所 東武博物館ホール

東京都墨田区東向島4-28-16

出席者29、委任状及び賛成議決個数36個（総社員数77）

報告承認事項

2009年度事業報告の件

2009年度決算報告の件

2010年度事業計画の件

2010年度収支予算書の件

事務局から内容を説明し、長瀬監事から会計並びに業務について、正しく事実と認める旨の監査報告の後、一括承認をいただきました。

決議事項

第1号議案 定款変更の件

「第1号議案 定款の変更について」を諮り、満場一致で議案のとおり決議されました。

(2) 理事会

①2010年4月10日（土）総会提出案件等について

②2010年7月30日（金）常務理事の選任、地域鉄道支援事業体制ほか

③2011年1月10日（月）イベントの計画、鉄道の安全確保について、ほか

④2011年3月26日（土）決算見込み、事業計画ほか

(3) 会員数

2011年3月31日現在

個人会員	94名
法人会員	1名
計	95名

報告・承認事項

2010年度 決算報告書

(第2期： 2010年4月1日～ 2011年3月31日)

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

収支計算書
(2010年4月1日～2011年3月31日)

単位:円

項目	予算額 a	決算額 b	差異 a-b	備 考
1. 事業活動収支				
(1) 事業活動収入				
①受取入会金	20,000	27,000	-7,000	
②受取年会費	200,000	192,000	8,000	
③事業収益	40,000	0	40,000	
④受取寄付金	0	40,000	-40,000	*1 別掲
⑤雑収入等	10,000	10,880	-880	雑収入10,801、受取利息14
事業活動収入計	270,000	269,880	120	
(2) 事業活動支出				
①事業費支出	115,000	128,186	-13,186	
②管理費支出	155,000	143,564	11,436	
事業活動支出計	270,000	271,750	-1,750	
事業活動収支差額	0	-1,870	1,870	
2. 投資活動収支				
(1) 投資活動収入	0	0	0	
(2) 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
3. 財務活動収支				
(1) 財務活動収入	0	50,000	-50,000	基金受入 *2 別掲
(2) 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	50,000	-50,000	
4. 予備費支出	50,000	0	50,000	
当期収支差額	-50,000	48,130	-98,130	
前期繰越収支差額	484,406	484,406		
次期繰越収支差額	434,406	532,536	-98,130	

消費税等の会計処理は、税込方式による。

*1 ご寄付を頂いた方

関東交通印刷
代表 藤本昌弘様 40,000円

－ありがとうございました－

*2 基金拠出
吉田千秋氏50,000円追加

(拠出内訳)

佐藤信之	100,000円
原 潔	100,000円
向後功作	100,000円
吉田千秋	100,000円
田中 人	50,000円
斎藤 実	50,000円
長瀬 博	50,000円

事業活動支出・管理費支出の部

単位:円

1. 事業費	予算 a	決算 b	差異 a-b	備考
(1)セミナートレインの開催	10,000	0	10,000	
(2)鉄道茶論の開催	10,000	0	10,000	
(3)会報の作成	60,000	89,116	-29,116	会報及び津軽鉄道小史作成
(4)地域鉄道フォーラムの開催	10,000	11,530	-1,530	ポスター作成等
(5)地域鉄道支援事業	25,000	27,540	-2,540	
事業費計	115,000	128,186	-13,186	
2. 管理費				
(1)会議費	10,000	4,000	6,000	総会、理事会
(2)交際費	0	0	0	
(3)旅費交通費	0	0	0	
(4)通信費	50,000	52,475	-2,475	ドメイン維持費、郵便、宅配便
(5)什器備品費	0	0	0	
(6)事務用消耗品費	10,000	9,732	268	
(7)委託費	0	0	0	
(8)雑費	5,000	4,957	0	弔電、支払手数料等
(9)租税公課	80,000	72,400	7,600	市民税均等割50000円、県民税均等割20000円ほか
管理費計	155,000	143,564	11,436	
事業活動費計	270,000	271,750	-1,750	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲 資金の範囲は、現金預金額の範囲内

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

単位:円

科目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	558,406	602,536
未収入金	0	0
仮払金	0	0
資産 a	558,406	602,536
短期借入金	0	0
未払費用	70,000	70,000
前受金	4,000	
負債 b	74,000	70,000
繰越収支差額 a-b	484,406	532,536

貸借対照表 (2011年3月31日)

単位:円

科 目	当年度 a	前年度 b	増減 a-b	備 考
1. 資産の部				
(1) 流動資産				
現金預金	602,536	558,406	44,130	
未収入金	0	0	0	
前払費用	0	0	0	
仮払金	0	0	0	
流動資産合計	602,536	558,406	44,130	
(2) 固定資産				
什器備品	0	0	0	
減価償却累計額	0	0	0	
固定資産合計	0	0	0	
資産合計	602,536	558,406	44,130	
2. 負債の部				
(1) 流動負債				
短期借入金	0	0	0	
未払費用	70,000	70,000	0	県民税・市民税
前受金	0	4,000	-4,000	次年度会費前受け
負債合計	70,000	74,000	-4,000	
3. 正味財産の部				
基金	550,000	500,000	50,000	
一般正味財産	-17,464	-15,594	-1,870	
正味財産合計	532,536	484,406	48,130	
負債及び正味財産合計	602,536	558,406	44,130	

正味財産増減計算書 (2010年4月1日～2011年3月31日)

単位:円

	当年度 a	前年度 b	増減 a-b	備 考
I 基金増減の部				
基金期首残高	500,000	200,000	300,000	
基金期末残高	550,000	500,000	50,000	
II 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	27,000	62,000	-35,000	
受取年会費	192,000	158,000	34,000	
事業収益	0	0	0	
受取寄付金	40,000	58,000	-18,000	
雑収入等	10,880	17,963	-7,083	
経常収益合計	269,880	295,963	-26,083	
(2) 経常費用				
事業費	128,186	61,488	66,698	
管理費	143,564	250,069	-106,505	
経常費用計	271,750	311,557	-39,807	
当期経常増減額	-1,870	-15,594	13,724	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-1,870	-15,594	13,724	
一般正味財産期首残高	-15,594	0	-15,594	
一般正味財産期末残高	-17,464	-15,594	-1,870	
正味財産合計	532,536	484,406	48,130	

財務諸表に対する注記

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2011年 4月 12 日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク
代表理事 佐藤信之 殿

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

監 事 長 瀬 博 (印)

監 査 報 告 書

私は、2010年4月1日から2011年3月31までの第2期会計年度における会計及び業務の監査を行い、その結果を次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

- (1)会計監査は、帳簿並びに関係書類の整合閲覧により、決算書類の正確性を検討した。
- (2)業務監査は、理事会及びその他の会議に出席し、必要と思われる事項について理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧などにより業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1)財務諸表及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財務状況を正しく示しているものと認める。
- (2)事業報告書の内容は、事実と認める。

以上

2011年度 事業計画

一般社団法人交通環境整備ネットワーク

1. 基本方針

東日本大震災により多くの人命が失われ、多くの方が被災しました。地域鉄道も大きな損傷を負い、復旧の見通しも立たない路線が数多くあります。

鉄道は幹線の鉄道と地域の鉄道が相互にネットワークで結ばれてこそその機能が発揮できるものであり、震災復興のためにも鉄道の早期復旧は欠かせないと考えています。

地域鉄道を支え守ることは当該地域の足を確保するだけにとどまらず、コミュニティやその地域で培ってきた伝統や文化を守ることにもなるものであり、そのため、当法人は交通事業者、行政及び市民のより強い絆の構築を目指して諸活動を行ってきました。本年度はさらに推し進め、東日本域地域の復興、振興にも寄与できるよう活動を行って参ります。

2. 交通環境の調査研究

地域鉄道等の交通環境や市民参加の現状に関する諸情報を収集し、交通の歴史的背景やその運営方策についての調査研究を継続して行うほか、都市鉄道整備の制度とインフラ整備の経緯に関する研究並びに地方路線バス、コミュニティバスの現状等に関して調査を継続実施する予定です。

これらの調査研究の結果については会報や出版物を通じて随時発表して行く予定です。

3. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

交通環境の整備に資するため、「地域鉄道フォーラム」、「鉄道茶論」等の主催事業を継続開催するとともに国、地方公共団体、NPO法人等の地域支援活動に協力して行きます。

また、地域鉄道支援事業を展開して参ります。

(1) 主催事業

主催事業を以下のとおり予定しています。

なお、調整中のものは、決定次第ホームページ、インターネットメールでお知らせいたします。

① 第3回地域鉄道フォーラム－地域鉄道の安全防災対策について－

期 日：平成23年6月11日（土）13時00分～15時00分

場 所：東武博物館ホール

参加費：無料。ただし、東武博物館への入場料大人200円、小人100が必要です。

内容：鉄道は、安全を確保し、自然災害にも強い鉄道となることを目指しています。地域鉄道に対する国の支援の仕組み、鉄道の安全防災対策の現状や技術を知り、鉄道利用者あるいは沿線住民としての役割を考えます。

講演

1. 地域鉄道支援の概要

－国土交通省鉄道局地域鉄道支援室長 横田孝洋氏

2. 東武鉄道の安全防災対策の取り組み

－東武ステーションサービス株式会社常務取締役 宇賀神 博氏
(前 鉄道事業本部安全推進部課長)

3. 地域鉄道の安全防災対策

－公益財団法人 鉄道総合技術研究所 理事 河合 篤氏

- ② 第4回地域鉄道フォーラムー公募社長サミット in 大阪—
期 日：調整中
場 所：大阪市
参加費：無料。ただし、会場までの交通費等は自己負担。
概要：2009年東京で開催した公募社長サミットを大阪においても開催し、関西圏での交流を図ります。
- ③ 第3回鉄道茶論
期 日：調整中
場 所：調整中
参加費：無料。ただし、会場までの交通費、会場での茶菓代等は自己負担。
概要：鉄道茶論は、暖かいサロンの雰囲気で気楽に集い、そして気楽に鉄道を語ることを目的に開催しています。
- ④ 第5回セミナートレイン（鉄道大学）
期 日：調整中
場 所：調整中
参加費：無料。ただし、会場までの交通費は自己負担。
概要：セミナートレインは、参加者がその地域の鉄道に実際に乗り、沿線の雰囲気に触れることができるよう、鉄道車両、駅等の場所をお借りし、時宜にあつたテーマでセミナーを開催しています。

（2）地域鉄道支援事業

地域鉄道とタイアップしてパンフレット、企画商品の開発、共同事業等を行います。

（3）資料調査事業

都市・地域交通に関する調査資料・歴史資料を刊行して参ります。

4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

（1）インターネットによる情報発信

インターネットサイト <http://www.ecotran.org> の内容を充実するとともに、鉄道諸情報等のインターネットによるメールの配信を行って参ります。

（2）会報「地域交通を考える」（「地域鉄道を考える」改題）の発行

交通環境調査研究の論文及び地域鉄道の諸情報等をまとめた会報「地域交通を考える」を発行します。

（3）鉄道ジャーナル誌に活動報告掲載

鉄道ジャーナル誌の「ECOTRAN通信」を活用して広く一般の方々に当法人並びに会員の活動を毎月紹介して行きます。

5. 当法人の発展のために

当法人発展のために、事業活動の広報等について会員諸氏においてもそれぞれの立場で、無理の無い範囲でのご活動をお願いします。

会費の納入のお願い

2011年度会費2,000円を、次の口座まで納入をお願いいたします。

郵便振替

口座番号 00170-6-546398

口座名称(漢字) 一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

口座名称(カナ) シヤ コウツウカンキョウセイビネットワーク

2011年度 収支予算書

単位:円

項目	予算額 a	前年度予算 b	差異 a-b	備 考
1. 事業活動収支				
(1) 事業活動収入				
①受取入会金	20,000	20,000	0	新規入会20名を見込む
②受取年会費	200,000	200,000	0	個人100名を見込む
③事業収益	265,000	40,000	225,000	支援事業65,000、資料調査事業200,000
④受取寄付金	0	0	0	
④雑収入等	10,000	10,000	0	
事業活動収入計	495,000	270,000	225,000	
(2) 事業活動支出				
①事業費支出	320,000	115,000	205,000	
②管理費支出	175,000	155,000	20,000	
事業活動支出計	495,000	270,000	225,000	
事業活動収支差額	0	0	0	
2. 投資活動収支				
(1) 投資活動収入	0	0	0	
(2) 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
3. 財務活動収支				
(1) 財務活動収入	0	0	0	
(2) 財務活動支出			0	
財務活動収支差額	0	0	0	
			0	
4. 予備費支出	50,000	50,000	0	
			0	
当期収支差額	-50,000	-50,000	0	
			0	
前期繰越収支差額	533,851	484,406	49,445	
次期繰越収支差額	483,851	434,406	49,445	

2011年度事業活動支出明細

単位:円

項目	予算 a	前年度予算 b	差異 a-b	備考
1. 事業費				
(1)セミナートレインの開催	10,000	10,000	0	
(2)鉄道茶論の開催	10,000	10,000	0	
(3)会報の作成	60,000	60,000	0	
(4)地域鉄道フォーラムの開催	10,000	10,000	0	
(5)地域鉄道支援事業	50,000	25,000	25,000	
(6)資料調査事業	180,000	0	180,000	
事業費計	320,000	115,000	205,000	
2. 管理費				
(1)会議費	10,000	10,000	0	総会費
(2)交際費	0	0	0	
(3)旅費交通費	0	0	0	
(4)通信費	50,000	50,000	0	電話、郵便、情報通信費
(5)什器備品費			0	
(6)事務用消耗品費	10,000	10,000	0	事務用消耗品費含む
(7)委託費	0	0	0	
(8)雑費	5,000	5,000	0	
(9)租税公課	100,000	80,000	20,000	市民税均等割5000円、県民事均等割2000円ほか
管理費計	175,000	155,000	20,000	
事業活動費計	495,000	270,000	225,000	

第1号議案 理事選任の件

理事全員は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては新たに選任をお願いいたします。

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴
1	佐藤信之 (昭和31年2月1日)	平成14年 國土交通省鐵道局の地方鐵道問題に関する検討会委員 亜細亞大学講師（交通政策論、日本産業論）、交通評論家 公益事業学会・日本交通学会会員 鐵道サポートーズネットワーク顧問 平成21年3月 当法人代表理事（現在）
2	原潔 (昭和23年9月28日)	運輸省・國土交通省、千葉都市モノレール運輸部長・取締役運輸事業本部長、日本民営鐵道協会総務広報部長を経て、(財)運輸政策研究機構運輸政策研究所研究員、鐵道史学会会員 平成21年3月 当法人専務理事（現在）
3	向後功作 (昭和38年2月5日)	銚子電気鐵道・鐵道部次長を経て銚子市觀光プロデューサー、関東運輸局地域公共交通マイスター 40歳の時千葉大学工学部都市環境システム学科の学部生としてまちづくりを学び、卒業。平成20年2月「がんばれ！銚子電鉄 ローカル鐵道とまちづくり」（日経BP社）を著す、まちづくり活動を主宰 平成21年3月 当法人常務理事（現在）
4	吉田千秋 (昭和39年11月24日)	富山地方鐵道、万葉線株式会社を経て、2008年4月よりひたちなか海浜鐵道株式会社取締役社長 平成21年3月 当法人理事 平成22年7月 当法人常務理事（現在）
5	齋藤実 (昭和25年9月29日)	運輸省、日本鐵道建設公団、運輸施設整備事業団、國土交通省を経て、東武鐵道株式会社鐵道事業本部計画管理部参事役 平成21年3月 当法人理事（現在）
6	田中人 (昭和43年6月23日)	早稲田大学助手、立教大学兼任講師などを経て、現在亜細亞大学・早稲田大学・立教大学講師 社会学・社会哲学（コミュニティ論・現代文化論など） 平成21年3月 当法人理事（現在）

第2号議案 監事選任の件

監事1名の選任をお願いします。

なお、当法人の監事は任期4年、2名以内となっており、長瀬博現監事の同意を得て1名追加選任をするものです。

氏名 (生年月日)	略歴
唐崎好彦 (昭和29年10月1日)	昭和52年 日本鐵道建設公団入社 昭和59年 運輸省鐵道監督局 平成2年 国際協力事業団 平成9年 九州新幹線建設局 経理課長 平成16年 北陸新幹線第二建設局 次長 平成18年 鉄道・運輸機構 広報課長 平成23年 同機構 監査室長（現在）